

持続可能な商品調達と責任ある販売

人権・環境に配慮したサプライチェーン・マネジメント

PPIHグループでは、事業に関わるすべての人々の人権問題や労働環境、安全衛生に関わる問題に対応することが小売業としての社会的責任であり、重要な課題と考えています。PB/OEM商品の拡大や、グローバル化によりサプライチェーンのリスク構造が複雑化する中、経済産業省の「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」をはじめとした国際的な指針やガイドラインに基づき、取引先との強固なパートナーシップのもと、責任ある調達を推進しています。これらの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現と企業の成長の両立をめざしています。

責任ある調達に向けた当社の対応

2022年6月期	<ul style="list-style-type: none">●PPIHグループ サステナブル調達方針、サプライチェーン行動規範制定●お取引先さま説明会の実施●SAQ(セルフチェックアンケート)調査開始(PB/OEM商品の製造委託先)
2023年6月期	<ul style="list-style-type: none">●SAQで課題が発見されたお取引先さまに対しフォローアップ研修を開始
2024年6月期	<ul style="list-style-type: none">●PPIHグループ サプライチェーン行動規範改訂●第三者CSR監査開始●PB/OEM商品の開発担当者向けセミナーの実施
2025年6月期	<ul style="list-style-type: none">●追加SAQの実施、第三者CSR監査の実施拡大●外部講師を招いた研修の実施
2026年6月期以降の 対応課題	<ul style="list-style-type: none">●第三者CSR監査の強化と拡充●NGOとの協働によるリスクベースのサプライチェーン管理体制の構築●グリーンバンスメカニズムの構築●お取引先さまの人権デューディリジェンス自走化支援

サプライチェーン上の人権・環境に対する方針・行動規範

当社グループは、人権や環境に配慮した商品調達に向けて、2022年1月に「PPIHグループ サステナブル調達方針」と「PPIHグループ サプライチェーン行動規範」を制定しました。

これらの方針・規範は、サプライチェーン全体の責任ある調達を推進するための枠組みであり、お取引先さまのご協力が不可欠であるため、新規のお取引先さまや、PB/

OEM商品を取り扱うお取引先さまには説明会などを通じて「PPIHグループ サステナブル調達方針」への賛同と「PPIHグループ サプライチェーン行動規範」の遵守に関する誓約書のご提出をお願いしています。これまでに累計で1,800社以上のお取引先さまから誓約書をご提出いただきました(2025年6月末時点)。

人権デューディリジェンスのサイクル構築に向けた取り組み

サプライチェーンにおける人権や環境リスク特定に向けた取り組み

サプライチェーンにおける人権・環境リスクの特定や、サプライチェーン行動規範の浸透状況の確認を目的として、お取引先さまに対し、第三者CSR監査及びSAQ(セ

ルフチェックアンケート)を実施しています。リスクの最小化に向けて、取り組みを強化いただきたい課題が発見されたお取引先さまに対しては、結果を共有の上、フォローアップ研修や再監査・再SAQの実施などを通じて、是正に向けた対応を行っています。

2025年6月期における実績

2025年6月期における第三者CSR監査及びSAQの結果、第三者CSR監査・SAQともに、最重要とする人権・労働に関する重篤なリスクは指摘されませんでした。しかしながら、課題が発見された工場もあり、リスク最小化に向け、フォローアップセミナーの開催や再監査(2026年6月期)を実施予定です。改善状況の確認と継続的な是正措置を通じて、サプライチェーン全体の人権尊重や安全性の向上を図ってまいります。

	対象	実施数
第三者 CSR監査	取引規模や製造を委託する商品ジャンル、工場の所在国など、リスク管理の観点で特に重要であると判断したPB/OEM商品製造委託先工場	39工場(国内:22工場、海外:17工場)
SAQ	取引規模に関わらず、第1回目SAQの結果から、リスクの観点で重要と判断したPB/OEM商品製造委託先工場	159工場(国内:96工場、海外:63工場) ※回収率:100%

第三者CSR監査 評価結果

	A	B	C	D
国内	2	16	2	2
海外	3	8	6	0
合計	5	24	8	2

第三者CSR監査においては、安全衛生面における指摘が多く見られました。「D評価」となった工場では、消防設備の不備といった課題も見つかっています。第三者CSR監査で「C」や「D」となった工場に対しては、2026年6月期において再監査を実施します。

責任ある販売

安全・安心な商品をご提供するための取り組み

当社グループでは、お客さまに安心して商品をご利用いただけるよう、製品安全の確保を重要課題の一つとして位置づけ、取り組みを進めています。

PB/OEM商品においては、開発段階から品質基準に基づいた設計・製造を徹底。新規の製造委託先工場には、お取引開始前にPPIHグループ独自の基準による監査を実施するほか、年に2回程度、製造委託先パートナーさまを対象とした品質研修を行うなど、サプライチェーン全体との協働を通じて、品質の担保に努めています。さらに、製品発売後も顧客目線での品質改善を図るため、majicaアプリの「マジボイス」機能などを通じて寄せられたお客さまの声をもとに、迅速な対応を進めています。

今後も、製品安全のさらなる向上に向けて、品質管理体

お取引先さま向け研修会の実施

次期の第三者CSR監査の対象工場に紐づくお取引先さまを対象に、サプライチェーンにおける人権・環境への対応を進めることをテーマとした説明会を2025年6月に実施しました。この研修は、お取引先さまが人権や環境の潜在的なリスクをより身近に捉え、自社のサプライチェーンにおける対応力を高めていただくことを目的としています。

研修では、今期の第三者CSR監査における指摘事項の共有に加え、外部講師(NGO)による「ビジネスと人権」に関する国際的な潮流や日本国内における労働安全衛生に関する主な問題や動向についての講話を実施しました。



パートナーさま専用ホットラインの設置

当社グループでは、お取引先さまからの相談・通報を受け付ける専用ホットラインを設けています。

このホットラインは、当社の対応や契約に関する社内窓口と、法令違反の可能性がある事案については外部の弁護士事務所を通報先として設定しており、匿名での利用も可能です。相談・通報者のプライバシーは厳格に保護されており、安心してご利用いただける体制を整えています。窓口情報は商談ルームなどに掲示し、お取引先の皆さまへの周知を図っています。お取引先さまの声を真摯に受け止め、調査を実施した上で、適切な是正措置を講じることで、サプライチェーン全体の安全性と人権尊重の向上に努めています。

製の強化と顧客視点に立った改善活動を継続的に推進してまいります。



「マジボイス」に寄せられたお客さまからのレビューをもとに商品を改善したことで、顧客満足度が20pt上昇した商品もあります



PB「情熱価格」の家電製品は、最大14の信頼性試験を行い、合格した製品には「品質マイスター認証」マークをつけています